

前後編 完結上映!!!
ものがたりの縁の地
諏訪から陸前高田へ...



撮影：須藤功 昭和40年代 三陸海岸
「ものがたりをめぐる物語 後編 再び地上へ」より

12.4日 前後編 各61分 入場無料・全席自由席
(定員300名 先着順)

開場	上映案内	前編 上映	後編 上映	対話	閉演
13:00	13:30	13:40	15:00	16:20	18:00

陸前高田市コミュニティホール
シンガポールホール TEL: 0192-54-2111

お問い合わせ TEL: 044-982-7233 | ささらプロダクション
9時~15時平日 TEL: 0192-55-4012 | 及川建築設計事務所
(陸前高田市)

※新型コロナウイルス感染症対策により入場者数が制限されたり、中止する場合がございます。事前に関係各所のお知らせやウェブサイト等をご確認ください。



「地域の記憶」を記録する
ホームタウンノート
映画も配信開始!!



SASALA

前後編完結映画会 | 陸前高田

❖ 主催：陸前高田映画会実行委員会 ❖ 共催：ささらプロダクション

ものがたりをめぐる物語

前編 地下の国へ / 後編 再び地上へ

昔に戻りたいわけではない
さりとてこのまま進みたくはない...



絵：近藤圭恵

由井 英 監督作品



三郎は蛇から龍に姿を変え、天に昇ったのだろう...

陸前高田映画会に寄せて
及川裕敏【陸前高田映画会実行委員会 代表・建築家】

3.11以降、「陸前高田」の名は誰もが知るようになった。「被災地」というニュアンスを伴って。映画の舞台は、信州諏訪と陸前高田。どちらも「養蚕」の文化を土台に持つという意味で親しみを覚えた。愛宕山の変りゆく姿に寄り添うまなざしからは、「風土との向き合い方」を問われた気がした。一方、古くから気仙川に架かる「板橋（流れ橋）」を集落の人々が架け替える姿や70年代の広田湾をめぐる動きに改めて触れて、「高田で上映会をしてみたい」と微かに気持ち動いた。「この風土に生きてきた私たちの誇り」に響くものになり得たのは、映画の制作者が、震災前の高田を知り、親交を結んできたこと無縁ではないだろう。そして、遠野からほど近いこの気仙の地にも「ものがたり」が生きている。映画に集った人々と、気仙について、風土について、ものがたりについて、大いに話してみたいと思っている。

◇哀しさの舞台

内山節【哲学者】

山は川や大地と結び、海につながっている。この結びつきのなかで人は暮らし、そこには風土がつくられていた。この風土は人々に生と死の諒解を与え、その諒解は神仏を人間たちに与えたとともに、たえず風土の物語を生みだしつづけた。この映画はそんな記憶の世界を描き出す。とともに自然との結びつきを否定し、つながり合う自然の世界を分断させた近・現代文明の哀しさを映し出す。それは、記憶の世界に戻ることも、さりとて現代文明に可能性を見出すこともできなくなっている私たちを包む哀しさである。

◇この映画は水を巡る物語だと思った

佐藤一男【防災士・元漁師／陸前高田市】

信州に伝わる物語を軸に各地に場面を移す。水に祈り、水に恵みを求め、水の脅威にさらされ、水とともに生きる各地の記録。時に人の都合で作り変えられる風景。この映画の中には、自然に対して人間の都合を押し付けられない人たちが出てくる。ゆったりと流れるこの映画には、古くもあり新しくもある日本人の残すべき美しさが映し出されている。そこには、訪れたことがない人にも懐かしいと感じる風景が映し出されていて、つながったことがないはずの町と町が映画の中でつながっていた。また、人と町の変化の記録としても貴重な物になっている。風景を中心に町おこしを考えている人は、必ず見て欲しい。



ものがたりをめぐる物語 前編 地下の国へ・後編 再び地上へ 2022年完成作品（前後編 各61分）ささらプロダクション制作

●監督・編集：由井 英 ●制作総指揮：小泉修吉、小倉美恵子 ●撮影：秋葉清功、伊藤碩男、筒井勝彦 ●録音：高木創 ●語り：清水理沙、糸 博、小倉美恵子 ●描画：近藤圭恵 ●演奏：大森島子（ピアノ）、尾尻雅弘（ギター） ●音響効果：高津輝幸、高木創 ●レコーディングスタジオ：TAGO STUDIO ●MAスタジオ：AQUARIUM、StudioGONG ●出演：河野和子、塩川悠太、荻原節子、オギュスタン ベルク、山中康裕、宮坂清、岩本保二、上原勉、中村桂子、藤森照信、松田富美夫、近衛はな ●助成支援：公益財団法人トヨタ財団 ●協賛：ホテル尖石 ●協賛支援：柴原みどり、宮越博子、速渡普士、飯島聡子、もりしたかずこ、小倉弘之、小倉麻由子、島正孝、中村真知子、野本紀子、堀内幸春、佐藤由紀子、本木勝利、高見俊樹、牛山一貴、飯本亜里

●撮影協力：北沢一行、熊澤祥吉、昔ばなし語りの会あかり、佐久市佐久城山小学校、東京ステーションホテル、正福寺、本御射山神社、八剱神社、諏訪市博物館、井戸尻考古館、茅野市尖石縄文考古館、上桑原牧野組合、ヒュッテ御射山、八十二文化財団、おかん塚古墳、守矢早苗、金野純一、菅野広紀、JT生命誌研究館、神長官守矢史料館、空飛ぶ茶室、高道庵、陸前高田市横田町本宿橋協会の ●写真提供：阿部史恵、市川一雄、佐々木寿美映、須藤功、日経PB/ナショナル・ジオグラフィック、タクミ印刷有限公司、河北新報、紺野利男、渡辺雅史、小倉美恵子、友澤悠季、小林信雄、平尾隆信、中野貴徳、八剱神社、諏訪市博物館、八ヶ岳美術館 ●画像提供：山梨県立博物館、国立国会図書館 ●映像提供：神奈川県川崎市、松田橋落成式 収穫祭 ●新聞記事：若手日報、東海新報、河北新報 ●資料提供：恩地薫 | シドモア桜の会、友澤悠季「広田湾埋め立て開発計画をめぐる人々の記憶—岩手県陸前高田市を中心として」、詩集「ふたつの扉」目黒裕佳子 ●物語出典：「甲賀三郎」限定複製版佐久口碑伝説集南佐久篇 | 語り：岡部いちの採録より改編